

# 造林事業仕様書

令和6年度檜原・万場地区造林（地拵外3）請負事業

群馬森林管理署

---

この請負事業の仕様書は次のとおりとする。

- 造林事業請負標準仕様書
- 造林事業請負実行管理基準
- 関東森林管理局造林事業仕様書

掲載場所：<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/keiri/20140423.html>

---

#### 特記事項

この請負事業に対する特記事項は次のとおりとする。

##### (CSF 感染拡大防止対策)

CSF（豚熱）の感染拡大防止のため、群馬県における CSF 対策を熟知して適切な対策に努めること。

##### (作業種ごとの特記仕様)

地拵作業にあたっては「地拵特記仕様書」、植付作業にあたっては「植付特記仕様書」、獣害防除（単木保護資材設置）作業にあたっては「単木保護資材設置特記仕様書」、獣害防除（シカ防護柵作設）作業にあたっては「シカ防護柵作設特記仕様書」、獣害防除（忌避剤散布）作業にあたっては「忌避剤散布特記仕様書」のとおりとする。

##### (その他)

現場での判断が難しい場合は、監督職員と協議の上、指示に基づき作業すること。  
希少野生生物を確認した場合は、監督職員へ報告することとし、事業実施において希少野生生物の保護の観点から事業の調整等に応じること。

別紙

## 地 拵 特 記 仕 様 書

作 業 種	作 業 仕 様	適 用 林 小 班 等
全刈地拵	植幅 0.5 m以上 置幅 1.7 m以内	65ろ、は、ち

(注) 寸法の単位は、m以下1位（10cm単位）とする。

## 植 付 特 記 仕 様 書

### 1 苗木の仕様

樹 種	区 分	長 さ	根元径	本数	適用林小班等
スギ	コンテナ苗	45cm 以上	3.5mm 以上	3,480	65ろ
スギ	コンテナ苗	45cm 以上	3.5mm 以上	300	65は
スギ	コンテナ苗	45cm 以上	3.5mm 以上	7,320	65ち

(注) 原則として、花粉症対策苗木（無花粉苗木、少花粉苗木及び低花粉苗木）とする。また、種子の採取地及び育成地が林業種苗法第24条第1項の規定に基づく農林水産大臣の指定する配布区域内である苗木に限る。

### 2 ha当たりの植付本数及び苗木の植付間隔

植 付 樹 種	h a 当 た り の 植 付 本 数 (本)	苗木の植付間隔（水平距離）		適 用 林 小 班 等
		列 間	苗 間	
スギ（コンテナ苗）	2,000	2.20m	2.20m	65ろ、は、ち

(注) 寸法の単位は、m以下1位（10cm単位）とする。

## 単木保護資材特記仕様書

適用林小班：65ろ、ち

## 1 設置資材の規格・数量表

品名	仕様、品質・規格	数量	単位	備考
本体	材質：ポリプロピレン又はポリエチレン※ 目合い：15×20mm以下 高さ：1.7m以上、口径：0.20m以上	5,820	枚	
止め具	材質：ポリプロピレン又はポリエチレン※	11,640	個	
杭	材質：ポリプロピレン※	5,820	本	
支柱	材質：FRP※、φ8mm以上、高さ2.1m以上	5,820	本	

## 2-1 作設標準図

別紙1のとおり

## 2-2 獣害防除資材の購入

類似の同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員に資材の規格・品質等の確認を得てから資材の設置を行うこと。

## 2-3 資材設置における留意点

## 作業① 支柱の設置

苗木から10cm程度離れた山側に支柱をマーク部まで差し込むこと（40cm）。

## 作業② ネットをかぶせる

ネットを裏返した状態でスリーブ部に支柱を挿入する。

ネットを苗木にかぶせる。

## 作業③ 杭を打つ

地際部はネットの空間を作らず束ねて、支柱、苗木の延長線上（斜面谷側）に苗木から約5cm離して打ち込む。杭はネットを貫通させること。

## 作業④ 支柱とネットを固定する

クリップを二箇所留める。

上部のクリップはネット開口部から10cm付近にネットの内側から留める。

下部のクリップは地上高50cm付近に外側から留める。

## 2-4 その他

この仕様書に定めのない事項については、監督職員の指示を受けて実施すること。

設置後、余分な資材が生じた場合には監督職員に引き渡すこととする。

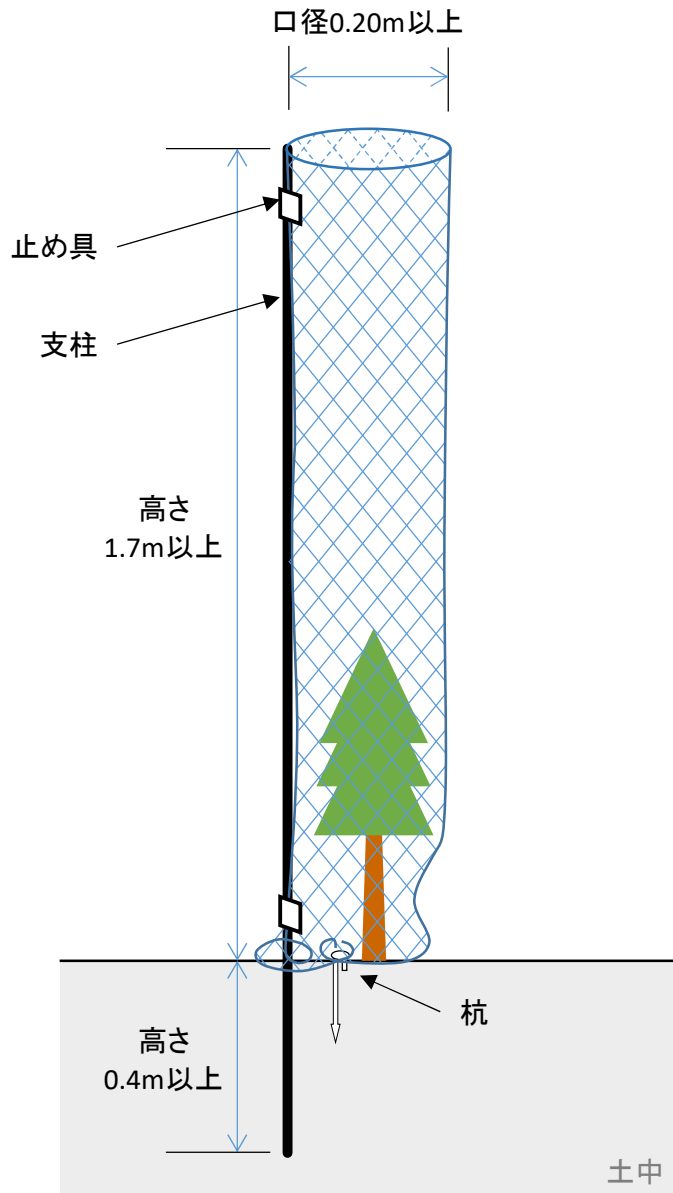
# 仕様書

## シカ被害防除資材 単木保護(ネットタイプ)

適用林小班: 65ろ、ち  
1セット

材質・規格		備考
本体	材質: ポリプロピレン又はポリエチレン※	
	目合い: 15×20mm以下	
	高さ: 1.7m以上、口径: 0.20m以上	
止め具	材質: ポリプロピレン又はポリエチレン※	上部・下部の2点以上に取り付ける。
杭	材質: ポリプロピレン※	杭数: 1本以上
支柱	材質: FRP※、φ8mm以上、高さ2.1m以上	支柱数: 1本以上

※もしくは同等以上で、5年以上の耐久性を確保できるもの



# 玉ねぎネット単木保護特記仕様書

適用林小班：65は

## 1 設置資材の規格・数量表

品名	仕様、品質・規格	数量	単位	備考
ネット	材質：ポリプロピレン又はポリエチレン 目合い：3×3 mm以上 15×15 mm以下 高さ：75 cm以上、口径：32 cm以上	300	枚	
止め具	ダブルクリップ超特大 PPC用紙 200枚綴じ	300	個	
補強部材	針金 材質：なまし鉄線 線径 #12 (約 2.6 mm) 以上 長さ 1.1m	300	本	
支柱	竹 φ18 mm以上、長さ 2.0m 以上	300	本	

### 2-1 作設標準図

別紙のとおり

### 2-2 設置要領（資材設置における留意点）

作業① ネットの支柱への取付

クリップに補強部材の針金を挿し込むこと。

作業② 支柱の設置

苗木から 10 cm 離れた谷側に竹杭を 40 cm 差し込むこと。

作業③ ネットの苗木への被せ

地際については隙間を空けないこと。

作業④ 整形

針金を水平にしネットの皺を取り円筒状に整形すること。

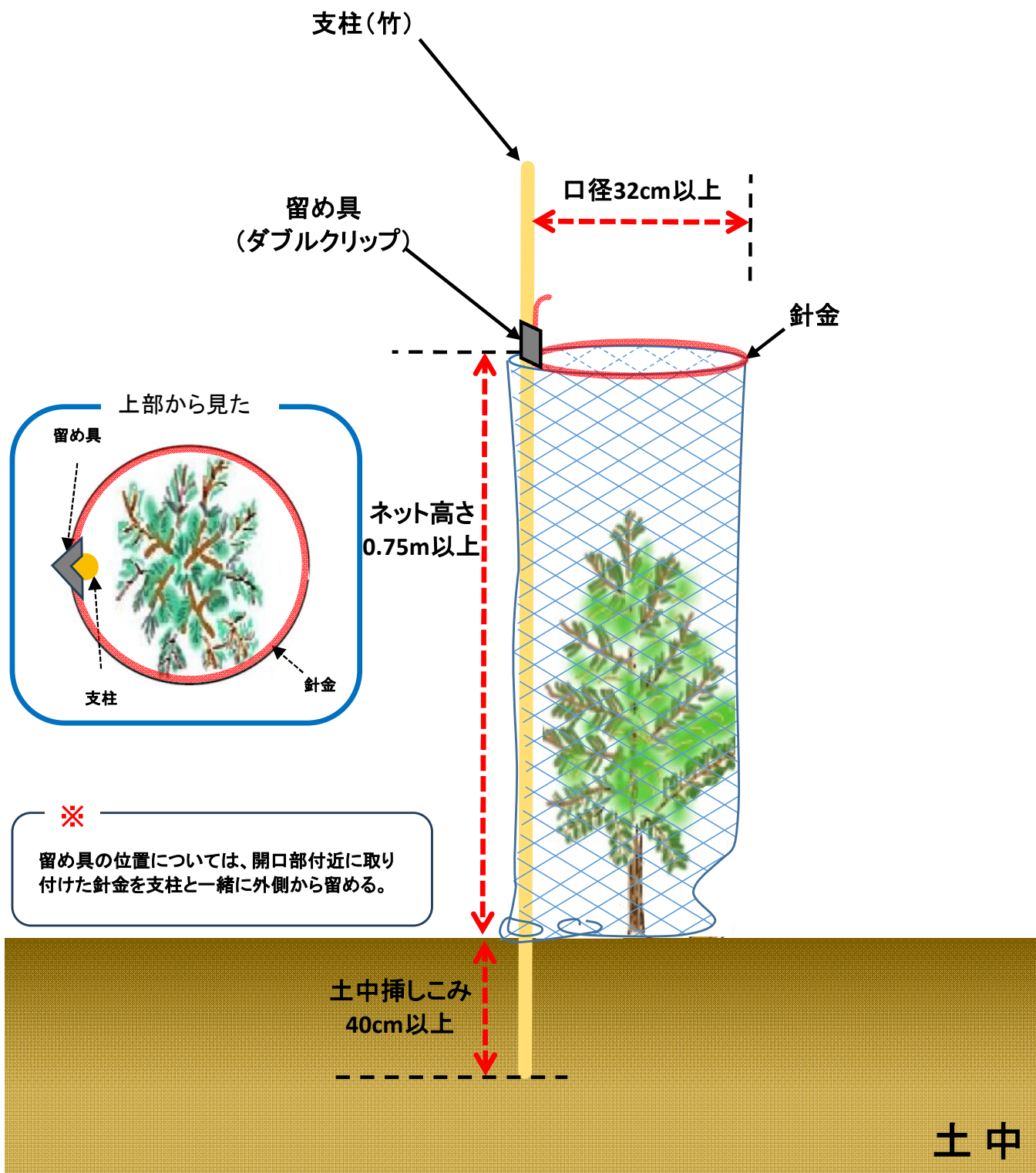
### 2-3 その他

この仕様書に定めのない事項については、監督職員の指示を受けて実施すること。

設置後、余分な資材が生じた場合には監督職員に引き渡すこととする。

# 作設標準図 (玉ねぎネット単木保護)

1セット  
適用林小班:65は



## シカ防護柵作設特記仕様書

## 1 作設標準図

別紙2のとおり

## 2 材料表（延長1,200m分+出入口2箇所分の資材）

65 ち林小班：作設延長1,100mのところロス率約9.0%を見込み1,200m分の資材

品名	仕様、品質・規格	数量	単位	総重量(kg)
上段金網	SGクロスフェンス 838-6SSa	48	巻	470.40
下段金網	SGクロスフェンス 943-6SSa	48	巻	537.60
支柱（二段・上）	C型支柱 PH L2000	255	本	714.00
支柱（二段・下）	基礎支柱 L1200	255	本	586.50
ボルト	M6×20 H/D	255	個	1.53
控え支柱（控え用）	PH L2000	72	本	201.60
控え支柱（ネカセ用）	PH L687	72	本	64.80
四ツ穴プレート		144	枚	19.87
アンカーピン	9×440	960	本	288.00
止め金具		1633	個	48.99
針金	GS-4 2.6mm	60	巻	60.00

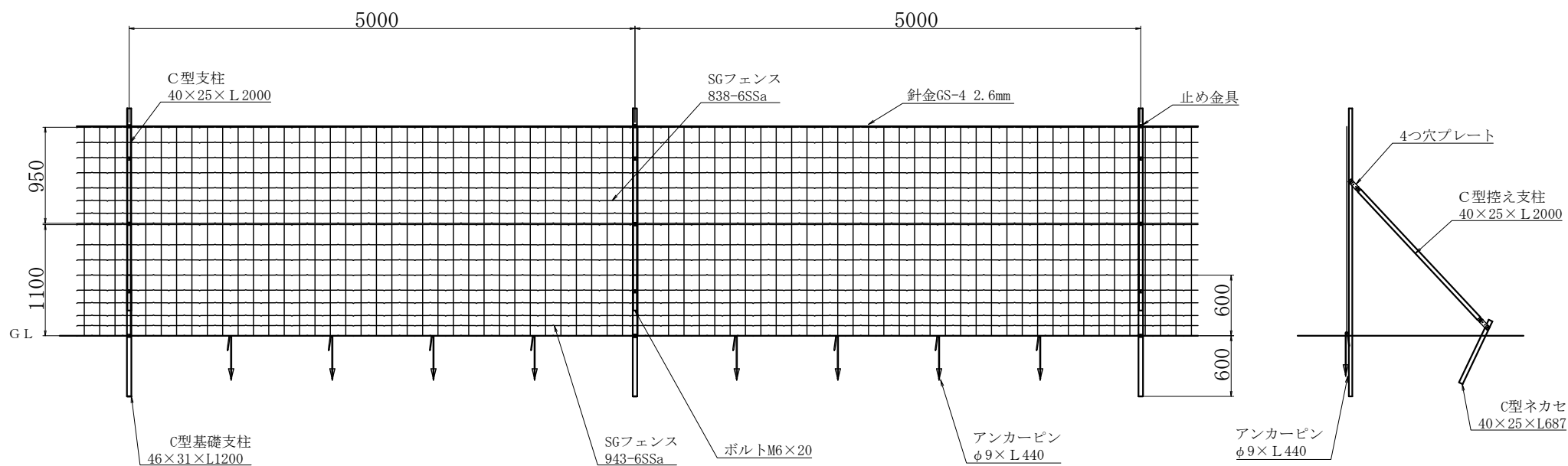
## 3 作業方法等

- (1) 各基礎支柱に打込み代のマークを付ける（打込み代は地盤面より60cm）。
- (2) 支柱設置間隔の標準は5.0mとし、地形等に応じてその間隔を調整すること。
- (3) 支柱は同一直線上では出来るだけ一直線に打込み、園外に向けてCの開口部を向けて設置すること。また、急傾斜地の支柱は鉛直方向に打込む。
- (4) スタート・コーナー支柱は、控え線、控え柱などで倒れないように固定する。
- (5) ロール状の金網を支柱に沿って解き、一方の端末を固定しもう一方をバール等強度のあるもので固定、緊張機で金網を引張り、止め金具を使って支柱に固定する。上段用の金網も同じ要領にて設置。上段のトップ線に補強線を這わしてよじっていく。
- (6) 1スパン当り2~3本の割合でアンカーピンを金網端部に打込み、金網を固定する（1m毎に1本）。
- (7) 仮門扉は、2本の支柱を隣接するように設置し、仮門扉側の支柱を抜き差しできる機構とすることで、開閉可能部を作設する。
- (8) 完了時には柵内にシカが入っていないか十分確認すること。

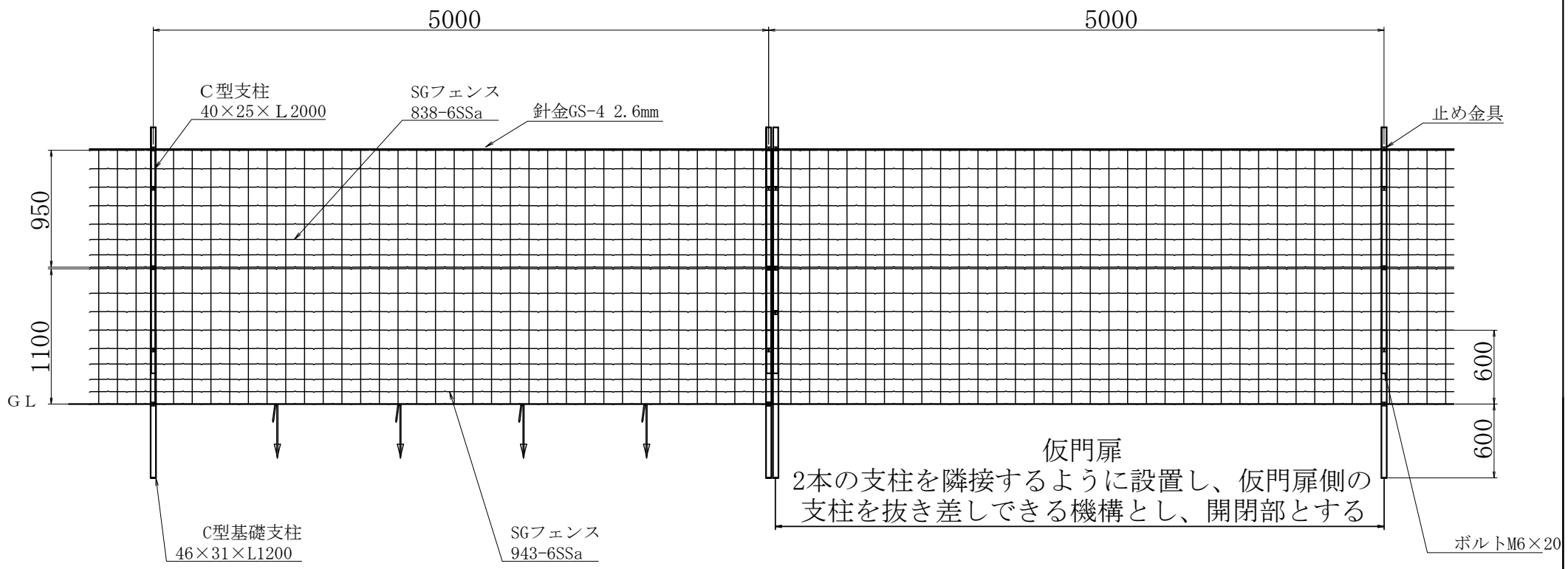
## 4 その他

この仕様書に定めない事項については、監督職員の指示を受けて実施すること。  
作設後、余分な資材が生じた場合には監督職員に引き渡すこととする。

別紙 2 シカ防護柵作設標準図



名称		鹿柵(H=2000・@5000)二段支柱			
製 図 縮 尺	日付		訂 正		
	検 図	承 認			
			図 番	F2AT294-18	



名称		鹿柵(H=2000・@5000)二段支柱開口部			
製図 縮尺	日付			訂 正	
	検図	承認			
				図番	F2AT294-18-1

## 忌避剤散布特記仕様書

## 1. 忌避剤の仕様

- (1) 性状 類白色水和性粘調懸濁液体
- (2) 有効成分 ジラム（白色粉末）32% ジンクジメチルジチオカーバメイト
- (3) 効果
- ア) ノウサギ・カモシカ・ニホンジカに忌避効果が認められる。
  - イ) 薬剤は散布後3時間程度で素早く乾燥、また付着性にも優れ、降雨による流出が無く散布した部分の食害を長期にわたって防止する。
  - ウ) 味覚刺激による食害減退効果がある。
- (4) 安全性
- ア) 毒物分類 普通物（劇物・毒物・特定毒物に該当しないもの）
  - イ) 魚毒性 C類

散布された忌避剤が河川湖沼海域および養魚場に飛散または流入するおそれのある場所では使用せず、これらの場所以外で使用する場合も、一時に広範囲に使用しない。散布に使用した器具及び容器を洗浄した水、使用残りの薬液並びに使用後の空き袋は、河川などに流さず地下水を汚染するおそれのない場所を選び土中に埋没するなど安全な方法で処理する

## 2. 忌避剤の散布内訳

植栽樹種	適用害獣名	原液量(ℓ)	希釈倍率	総散布量(ℓ)	植栽木1本あたり使用量(mℓ)	対象林小班等
スギ・カラマツ	ニホンジカ・カモシカ	15.00	3倍	45.00	10.0	43と1
カラマツ	ニホンジカ・カモシカ	5.60	3倍	16.80	10.0	43と2

※植栽木1本あたり使用量は、原液の数量とする。

## 3. 忌避剤の購入

獣害防除資材は請負者が購入し、設置前に監督職員立ち会いのもと、品質・規格・数量等の確認を受けること。

## 4. その他

- (1) この仕様書に定めのない事項については、監督職員の指示による。
- (2) 散布後、余分な忌避剤が生じた場合には監督職員に引き渡すこととする。